1月のえんだより

社会福祉法人のぞみの会
大 塚 保 育 園
大塚子どもふれあい館
園長　石坂 芳
令和８年1月５日発行　№501

あけましておめでとうございます。
今年の正月はどのようにお過ごしでしたか。子どもたちが楽しめたのはやはり、家族と過ごす団らんではないでしょうか。また、家族で出かけて正月しか出会えない各地の行事を見たり、参加したりしていろいろな経験や体験をして過ごした事と思います。

さて、令和7年度も残り3か月になりました。園では7年度から幼児が3クラスから4クラス編成で保育をしています。1クラスの園児の数を少なくなり、保育室の中でお仕事に取り組む子ども達の姿が昨年より集中しているように見受けられます。昨年度から懇談会等でもお話しいたしましたように、年齢、学年にとらわれない発達に応じたクラス運営ができるような異年齢児保育を行います。

昨年度までと少し変化のあるクラス体制になりますが、保護者皆様のご理解、ご協力をお願い致します。　　園　長

❀クラスコラム❀

つきぐみ

寒さに負けず、外で元気に身体を動かして遊ぶつきぐみさんです。最近はうんていなどの大きな遊具で遊ぶことも増えました。

先月の給食は誕生会＆クリスマスのお楽しみ献立がありましたね！
いつもと違う盛り付けにわくわくの子どもたち♪

おにぎりを手で持って食べていると、ついつい他のおかずの唐揚げやブロッコリーも手掴みに、、。夢中で食べていたのでフォークを使うことを忘れてしまったようです。

幼児クラス

エントランスにあるXmasツリーに飾り付けをしました。迷いながら「これにする！」と決めると、今度はどこに飾ろうかなと、お友達と相談したり協力しながら背丈よりも高いXmasツリーの飾り付けを楽しむ幼児クラスさんでした。
サンタさんもXmasツリーに気付いてプレゼントを届けに来てくれました！

りすぐみ

自然に触れてみたり、登ってみたり、探検してみたり・・・
興味のある事へ積極的に行動！
おさんぽも身体を動かすことも
だ～いすきなひよこぐみさんです

サンタが保育園にやってきた～♪

本園にも分園にもサンタクロースさんはやって来ました～

1月の行事予定

9日(金) もちつき体験
14日(水) 乳児検診
　　体操のじかん〔そら〕
15日(木) リトミック〔ひかり〕
21日(水) 体操のじかん〔にじ〕
22日(木) つき組懇談会
　　リトミック〔かぜ〕
23日(金) 誕生会
28日(水) 体操のじかん〔ひかり〕
29日(木) リトミック〔そら〕

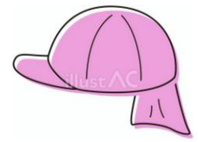
12月末で退園しました
つきぐみのお友だち
また遊びに来てね

【※重要】　≪ご協力をお願い致します≫

今年度より分園は異年齢児保育が始まっていますが、来年度より本園も乳児クラスより異年齢児保育が始まります。
私達はお子さんをその学年で見るのではなく、お子さん1人1人の発達を大切にして、それに合わせたクラス編成にしていきます。

その為には学年別のカラー帽子ではなくひよこ組ゆめ組（ニドクラス）以外は全員同じ色のカラー帽子(藤色）を被って生活していきます。
保護者の方にはご負担をお掛けしますが購入のご協力をお願い致します。
一つ千円になります。見本は各クラス前に置いてありますのでご覧ください。

懇談会の時に注文書を配布し(締切日は2月下旬）、3月中旬頃に事務所前にて販売をさせて頂きますのでご協力宜しくお願い致します。
何かありましたら事務所まで問い合わせ下さい。



【自己選択で自分の活動を選ぶ】

モンテッソーリ教育では、教師がこどもに活動を与えるのではなく、こどもが自ら活動を選択します。
「これがしたい！」という自分の**内発的動機づけ**に従って興味のある活動を選び、心ゆくまで取り組むことができる。
そんな環境が用意されているのも、モンテッソーリ教育の特徴のひとつです。

≪お仕事≫

モンテッソーリ教育が実施される教育環境では、各年齢グループの**特定のニーズに応じた活動**が用意されています。モンテッソーリ教育では**「こどもが欲求に従って行う活動は、こどもにとってのお仕事」**と考えられており、**それぞれの活動に目的があるのも特徴**です。
発達段階に合わせて用意されたさまざまなお仕事は、必ず各発達段階に見合い、その段階でのこどもの興味関心や発達課題がかなうように設計されています。
例えば、モンテッソーリ教育の原点でもある 2.5～6歳のプライマリークラスでは5つの教育分野で構成されており、教具と呼ばれる特別な道具が使用されます。

≪一般的な教育とモンテッソーリ教育の違い≫

一般的な教育とモンテッソーリ教育のもっとも大きな違い、それは「大人主体か、こども主体か」という点です。
一般的な教育現場では教師（大人）が活動内容を決めて指導しますが、これは**大人主体**の教育です。
一方モンテッソーリ教育では、自己教育力という考え方に基づき、こどもが自分で活動を選ぶ**こども主体の教育**が行われます。
具体的には下記のような違いが挙げられます。

一般的な教育とモンテッソーリ教育の違い

	一般教育	モンテッソーリ教育
活動の決め方	教師が活動や学習内容を決め、集団で一斉教育を行う。	グループ活動もある一方で、主に個人活動が行われる。こどもが自分で活動を選択する。
クラス編成	縦割りクラス	発達段階に応じた縦割りの異年齢クラス
時間割	大人が決めた時間割で、活動時間に制限がある。	こどもが自分で選び自分で決める。活動に時間の制限がない。
間違いへの対処	大人が間違いを指摘する。	自分で気付き自己訂正する。

≪こどもの発達をサポートするモンテッソーリ教師≫

ここまで見ると、「こども主体＝何でもこどもの好きなようにさせる」と考える方もいらっしゃるかもしれませんが、決してそうではありません。モンテッソーリ教育が行われるクラスには、通常、**訓練を受けたモンテッソーリ教師**と教師をサポートする**モンテッソーリ・アシスタント**がおり、こどもたちを観察しながら活動に導いています。
導く際には、こどもがやりたいからといって無秩序になんでもやっていいのではなく、そのクラス（コミュニティ）において安心と安全が担保され、心地よく過ごすためのルール（制限）が必ず設けられています。
その**制限の中にある「自由」**がこどもに保障されているのです。
こどもたちは、モンテッソーリ教師によって準備された環境やその**制限の中で、限りなく主体的に活動を行います。**

環境を通してこどもの育ちを助ける

モンテッソーリ教師は、通常、**各国の教師（保育者）資格を保有の上、モンテッソーリ教育特有のトレーニング**を受けています。教師は
「こどもの自己発達の過程をサポートするガイドまたはファシリテーター」
とされ、一人ひとりのこどもの発達を観察し、ニーズを認識し、必要に応じて援助をします。
こどもが「やりたい」という気持ちになった時に活動を紹介するなど、
こどもと準備された環境をつなぐのがモンテッソーリ教師の大切な役割です。